

米軍横田基地の再編・強化に反対し、撤去を求める意見書

首都東京には、世界に類例のない異常がある。

それは、首都に米軍基地が存在することである。

米軍横田基地により、周辺住民は、騒音に悩まされ、いつ墜落事故があるかという不安にさらされてきた。

また、関係自治体にとっても、安全で住みよいまちづくりの推進や産業の振興に大きな障害となっている。

最近、この横田基地を「軍民共用化」という計画が取りざたされているが、周辺住民に新たな不安と苦痛を与えるものである。

そのやさき、今度は、日米両政府が、「日米同盟の変革と再編」の名で、地球的規模での海外派兵態勢づくりをエスカレートさせ、在日米軍基地強化・永久化の企ての一環として、横田基地の在日米軍司令部に航空自衛隊の戦闘機部隊を統括する司令部を併置することで合意した。また、米軍のみならず、「共同統合運用調整所」という日米の事実上の統合司令部まで設置される計画になっている。米軍と自衛隊が一体になって海外での共同作戦を行う態勢づくりの環として、横田基地が位置づけられているのである。

これまでは、とかく関係自治体と周辺住民の問題とされてきた米軍横田基地の存在であるが、東京都民は、アメリカが引き起こすイラク戦争のような先制攻撃の中心的役割を担う基地が首都に存在することなど、認めることはできない。

首都東京を戦争の発信地にしないためにも、住民の騒音などを解決し、周辺住民の安全・安心の生活を取り戻すためにも、米軍横田基地は撤去されるべきである。

よって、本市議会は、政府に対し、米軍横田基地の再編・強化に反対し、撤去を強く求めるものである。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成17年12月21日

三鷹市議会議長 金 井 富 雄